

射水のビオトープに大賞

富山でフォーラム

NPO法人日本ビオトープ協会の「ビオトープフォーラム in 富山2015」は12日、富山市の県民会館で開かれた。ビオトープ顕彰受賞作品の発表・表彰式



賞状を受け取る岡田理事長(右)
—富山市の県民会館

では、大賞に自然環境ネットワーク・射水市ビオトープ協会の射水市青井谷野手地区周辺里山ビオトープが選ばれた。

射水市ビオトープ協会の岡田一雄理事長が出席し、日本ビオトープ協会の櫻井

淳会長から賞状を受け取った。富山市ファミリーパークの山本茂行園長が「ビオトープによるコミュニティづくり—富山市ファミリーパーク30年の道—」と題して講演した。

大賞受けた射水の ビオトープを表彰

富山でフォーラム

「ビオトープフォーラムin富山2015」が12日、県民会館で開かれ、NPO法人自然環境ネットワーク・射水市ビオトープ協会（岡田一雄理事長）が整備している同市青井谷野手地区周辺里山ビオ



櫻井会長から表彰を受ける岡田理事長（右）——県民会館

北日本新聞 平成27年6月13日(土)

トープがビオトープ大賞の表彰を受けた。

フォーラムは、NPO法人日本ビオトープ協会（櫻井淳会長）が毎年各地で開いている。今回は「ビオトープによるコミュニティづくり」をテ

ーマに開催し、会員や来賓ら約80人が出席した。

櫻井会長が「協会は自然環境の再生に取り組んで20年になる。人との関わり合いを求めながら活動する価値が見直されている」とあいさつし、

岡田理事長らに表彰状を贈った。岡田理事長は事例発表で里山ビオトープを紹介した。

環境システム研究所（東京）の原田鎮郎社長、富山市ファミリーパークの山本茂行園長の講演も行われた。

射水のビオトープ 富山・ねいの里視察

フォーラム最終日

NPO法人日本ビオトープ協会の「ビオトープフォーラムin富山2015」の最終日は13日、射水、富山市内で開かれ、約40人が現地視察を通じて自然との共生のあり方に理解を深めた。

一行は射水市大門小と同市青井谷(野手)のビオトープ、富山市の県自然博物館「ねいの里」を訪れた。青井谷ではNPO法人自然環境ネットワーク・射水市ビオトープ協会が整備した池や自然観察小屋を見て回り、

ビオトープ内を見学する参加者
射水市青井谷



岡田一雄理事長がモリアオガエル、サンショウウオ、ゲンジボタルの保存を図っていることを紹介した。射水市内の住民有志でつくる「きららかネットワーク」の竹林整備も見学した。

富山新聞 平成27年6月14日(日)